特別寄稿 議員からのメッセージ

大友克寿

「被災者の心に寄り添いながら、みんなで前へ。」震災後、いつも胸に抱いている私の行動指針です。

復興政策における大切な要素は、誠実かつ着実であることだと考えます。

酒井信幸

がんばろう岩沼や泥上げのボランティアに参加して、被災された方が前向きな姿でいることに感動しました。復興まで時間がかかると思いますが微力ながらも力を注いでいきたいと思います。

須藤功

未曾有の大震災が「運命」とか「定め」と過去形に例えられるなら、これからという「未来」は私たちの手で共につくっていかねばなりません。亡くなられた方々のためにも。合掌

渡辺邦信

3月11日、足の下から地響き。どどどの音が伝わる。その日から、大丈夫か?必要な物は?岩沼ゆかりの人たちの声援、物資が届く。ニューヨークから今も支援活動中と伝わる。感涙す!

渡辺ふさ子

「頑張れと言われても、とても頑張れません」両親と最愛の妻、二人の幼子を亡くした父親の言葉が胸に痛い。復旧・復興は心に寄り添い、くらし、生業が成り立つよう力を尽くしたい。

布田一民

震災の犠牲になった方々へ追悼の意を表し、被災されている方々へ謹んでお見舞い申し上げます。私たちが「今」できることを考え、着手し、未来へみんなで乗り越えていきましょう。

櫻井隆

今回の東日本大震災により、我が家は床上浸水し、避難生活を余儀なくされました。復旧・復興までには長い道のりですが、被災者の皆さまと共に頑張りましょう。玉浦ガンバレ!

佐藤一郎

被災されました皆さま、お見舞い申し上げます。玉浦の復活は、岩沼みんなの願いです。声をかけ合い、知恵を出し合い、助け合いで「希望あるまち岩沼」を一緒に創りましょう。

森繁男

3月11日の震災翌日、東部地区の光景は戦争よりひどいとただぼうぜんとした。今後、被災した一人として、また議員として、市民の皆さんと共に復旧・復興に全力で取り組んでいきます。

国井宗和

復興への方向を示すことが急務です。確かな未来を、悠久の故郷岩沼、自然と調和し希望溢れる明日へ向かい共に考えよう。子孫への贈り物、岩沼の一番を岩沼らしさを探し創り残そう。

長田忠広

被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

一日も早い復興を祈りつつ、全ての方が明るい笑顔を取り戻せるよう、私は私のできることを全力で取り組んでまいります。

宍戸幸次

東日本大震災の爪痕は甚大で、被害状況も過去にない数値が示されました。今後は、自助・共助・公助が復興のカギを握るものと思量します。特に、公助の役割は行政の大命題です。

高橋孝内

史上空前の大震災で被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。先人が年月をかけて築いた岩沼をどんなことがあっても新しい岩沼へとつくり上げて行くことが私たちの責務です。

飯塚悦男

3月11の日を私たちは永久に忘れることはできません。市民の尊い命を奪い、かけがえのない財産を失った日を。私たちの使命は緑豊かな玉浦の復興、自然と共生できるまちづくりを。

加藤政勝

過去の歴史が証明するように、幾度となく津波の被害を受けてきました。目先のことよりも将来の展望を見据えて、被災者が希望している集団移転を実現させるためにも特区申請を。

渡辺真多

もう夏です。あの日から4カ月、季節の流れは速いものです。何を言ったらいいか言葉が見つかりません。力を合わせて、生かされた者、残された者、立ち上がらねばと思っています。

梶谷洋夫

市は、震災時に沿岸部に住んでいた8割以上の世帯が集団移転を希望していることが分かった。市は、沿岸部の住民と十分話し合い、市の責任で集団移転の候補地を選定すべきである。

長田雅裕

「一刻も早い復興を」「がんばろう岩沼」というフレーズが目に付く。「がんばり過ぎるな」と言いたい。今はまず、起きたことをそれぞれが受け止め、悲しみに向き合う時間が必要だ。